

図書館だより

No.181



2012年(平成24年)2月29日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel: 024-535-3218 / Fax: 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>

⚠ 復旧工事のお知らせ

現在、当館は、東日本大震災により被害を受けた公開図書室等の復旧工事を行っており、限られたスペースによる部分閉館をしています。

つきましては、工事の日程や注意事項に関して以下の通りお知らせいたします。皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

①復旧工事の竣工時期

2012/ 5月下旬 予定

②工事に伴う閲覧・貸出の制限

立入禁止としている公開図書室の資料は職員がお出しする形でご利用いただいておりますが、次の期間には工事用足場の組立・解体が行われるため、職員も公開図書室内に立入禁止となります。

それに伴い、公開図書室内の資料を閲覧・貸出することができなくなります。

閲覧・貸出が制限される期間

2012/ 3/12(月)～3/20(火)

2012/ 4/2(月)～4/5(木) 予定

③貸出上限冊数の変更

公開図書室の工事が終了するまでの間、貸出冊数の上限を20冊(通常は10冊)に変更いたしますので、ご案内します。

④芝生の除染工事

図書館および隣接する美術館周辺の芝生の除染工事が2012年3月末まで行われる予定です。その間、芝生への立ち入りができなくなりますので、ご注意ください。

※工事の進捗状況により、上記の予定日程は変更になる場合があります

※利用が制限される資料については、館内での掲示やホームページで随時お知らせします



イベント案内

企画展示

3.11からの8784時間
～そしてこれから～

展示コーナー

2012/ 3/2 ～ 再開館まで
(5月下旬予定)

東日本大震災からの1年間を、当館の資料および地元新聞社より借用した写真パネルとともに振り返ります。

【協力】福島民報社・福島民友新聞社

企画展示

福島県立図書館 再発見!

展示コーナー

再開館 ～ 2012/ 7/4まで
(5月下旬予定)

再開館に伴い、皆さまに福島県立図書館のことを改めて知っていただけるように、当館が所蔵する貴重資料をご紹介します。

展示のお問い合わせは
当館までお願いします

こどものへや利用時間の変更

4月3日(火)から、こどものへやの利用時間が平日19時までに変更されます。(土日祝日は17時30分まで)

震災関連資料の寄贈にご協力ください

当館では、福島県の過去・現在を未来へ伝える資料として、地域資料(福島県に關係する資料および福島県にゆかりのある方の著作物等)の収集・保存を行い、県内外の利用に供しています。

このたびの震災に関する資料も、後世に残すべき記録として重点的に集めておりますので、そのような資料を刊行された方は、ぜひともご寄贈くださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ】 福島県立図書館 地域資料チーム
Tel: 024-535-3218 / Email: chiiki@library.fks.ed.jp

横断検索のご案内

当館のホームページには、福島県内の図書館が持つ資料を一度に検索することのできる、横断検索というサービスがあります。

これを使うと、当館にない資料が県内の他図書館にあるかどうか簡単に調べることができますので、相互貸借(図書館同士で資料を貸し借りし、利用者の方へ提供するサービス)

今年度も検索できる図書館の数が
増え、ますます便利になりました!

と併せてご活用いただければ、お探しの資料を手に入れることのできる可能性が広がります。

ホームページトップ左上、「横断検索」
リンクからアクセスできます

本を探す 横断検索

新着案内

各分野の担当者が選んだ、おすすめの新着資料をご紹介します。
※各資料の見出しの最後にあるのは、資料を区別するための記号です。

人文

『世界の本屋さん見て歩き: 海外35カ国202書店の横顔』 能勢仁/著 出版メディアパル
2011.10 024/マ11X

著者が1995年以降に訪ねた海外35カ国、202の書店事情が紹介されています。大型書店やチェーン店から専門書店・古書店まで、各書店の品揃え・陳列方法・売場レイアウト等が詳細に記されています。書店もまた各国のお国柄や文化を反映しており、特に北欧や東欧、東南アジアなど見聞する機会が少ない国々の事情には興味深いものがあります。また“本屋さん”を切り口とした旅のガイドブックとしても楽しめる一冊です。

『世界の文字を楽しむ小事典』 町田和彦/編
大修館書店 2011.11 801.1/マ11Y/

古代ラテン文字から現代日本のギャル文字まで、「文字」と一緒に古今東西を駆け巡る！ 多様な専門分野に属する32人の執筆者たちが、心弾む「文字」の世界へ案内してくれます。表記や発音という要素を土台にし、宗教・多言語・情報技術などといった、歴史の中の社会文化と「文字」とのつながりを鳥瞰します。小ぶりな一冊に「文字」の話題がぎゅっと詰め込まれた、読み応えのある本です。

社会・自然

『サボる時間術 (日経プレミアシリーズ)』
理央周/著 日本経済新聞出版社 2011.9
336.2/リメ119

重要な仕事がいっぱい「やっつけ仕事」になってしまう…そんな方におすすめです。

限られた時間でいかに成果をあげるか。「こなす仕事」を効率化し、「創造する仕事」に振り分けるために「まとまり時間＝サボり時間」をつくるという発想です。いかに「創造的で、付加価値を生み出す仕事」をするか、充実した仕事をし、かつ人生全体の幸せを考えるための一冊です。

『原子力問題図書・雑誌記事全情報 2000-2011』
日外アソシエーツ株式会社/編 2011.10
R539.031/N1/2

この本では、2000年から2011年6月までに出版された、原子力問題を扱った図書と雑誌記事をテーマごとに分類し、リストにしています。扱っているテーマは原子力問題一般、政策、平和利用、軍事利用、放射能汚染・放射線障害、原子力と文学と幅広く、福島第一原発事故についても項目を設け、発生から3カ月間の情報を掲載しています。

巻末には索引と原子力関連年表があり、知りたい項目の検索や問題の推移を知ることができます。

新聞・雑誌

立春が過ぎて暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。体調管理にはぜひ気をつけたいところです。そこで当館で所蔵している健康に関連する雑誌をご紹介します。(すべて2012年の号です)

『暮しと健康』 保健同人社 Z/490.5/H1

*3月号特集「認知症との上手な付き合い方」

*2月号特集「冬の高血圧、上手にコントロール」

*1月号特集「カサカサの乾燥肌にご注意！ つかいかゆみ」を防ぐ 冬のスキンケア」 他

『明日の友』 婦人之友社 Z/490.5/A1

*早春号特集「身近にある肺結核」

『栄養と料理』 女子栄養大学出版部 Z/596/E2

*2月号特集「できる！ 30日間でマスター 究極の減塩」

*1月号特集「こんなとき、なに食べる？ みんなの栄養学」

『からだの科学』 日本評論社 Z/490.5/K1

*WINTER号特集「子どもの発育・発達と病気」

地域

『詳解 会津若松城下絵図: 甦る、いにしへの会津若松城下』 野口信一/監修 歴史春秋社 2011.12
L216/N5/5-1

蒲生氏郷による都市建築から戊辰戦争までの276年間に渡って若松城下は美しい街並みを誇り、東北地方有数の都市として発展してきました。

この本は、県立博物館所蔵『会津若松城下絵図屏風』を基にしなが、城下に整然と配置された集落や武家、寺社などに解説を加えています。

附録『会津若松いまむかし城下地図』には幕末の城下に居住した人々の氏名が記されています。地図には来年の大河ドラマ「八重の桜」の主人公：新島八重の名前もあるなど、会津の歴史に興味を湧いてくる一冊です。

『南相馬10日間の救命医療: 津波・原発災害と闘った医師の記録』 太田圭祐/著
時事通信出版局 2011.12 LS498.89/O1/1

大震災に伴う原発事故によって、屋内退避区域に指定された「南相馬市立総合病院」。地震・津波直後の混乱、押し寄せる被ばくの恐怖、物資の不足に抗いながら、著者は災害初期医療を行ないました。

搬入患者が多過ぎて満足にトリアージ（ケガの程度による分類）できないことや、屋内退避区域指定によって医薬品が全く入荷されないことなど、災害最前線の医療現場でしか遭遇し得ない過酷な出来事が記されており、今後の災害医療のあり方に一石を投じる内容となっています。